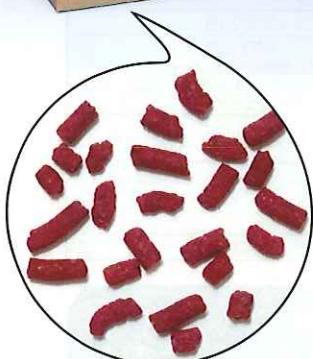


ネキリエースK®

イソキサチオニ粒剤
有効成分:イソキサチオニ...0.50%



ペイト剤(毒餌) 実寸
(粒直径 約3mm)



ネキリムシ (カブラヤガ)

- 处理がかんたん!
- 老齢幼虫にも高い効果!
- コオロギにも有効!
- 優れた誘引作用!



<播種時>

上手な
使い方

<定植時>

夜になると...



※使用に際しては製品ラベルの記載に従ってください。

処理がかんたん!

ベイト剤だから、土壤表面や作物の株元にまくだけ。省力的!

老齢幼虫にも高い効果!

ネキリムシの老齢幼虫にも高い効果を示します。

コオロギにも有効!

ネキリムシだけでなくコオロギにも有効です。

ネキリエースK

有効成分: イソキサチオン…0.50%

【人畜毒性】普通物*

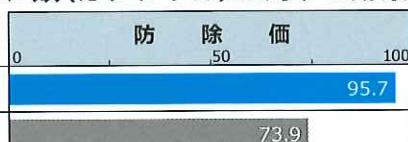
*「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数
はくさい	コオロギ類 ネキリムシ類	3kg/10a	は種時又は定植時～生育初期但し、収穫14日前まで	1回	土壤表面株元処理	1回
キャベツ だいこん はつかいこん			は種時又は定植時			4回以内
ブロッコリー			定植時～生育初期但し、収穫14日前まで	4回以内		2回以内
レタス			は種時又は定植時～生育初期但し、収穫21日前まで	2回以内		1回
非結球レタス			は種時又は定植時			2回以内
なばな			発芽期まで	1回		5回以内
だいす			は種時～本葉2葉期			(粉剤及び粉粒剤のは種時の処理は合計1回以内、 粉剤及び粉粒剤の定植時は合計1回以内、 粉剤の土壤表面散布は1回以内、 粒剤の土壤表面株元処理は2回以内)
えだまめ			収穫21日前まで	2回以内		1回
いちご			収穫前日まで	1回		2回以内
葉さばう			は種時～子葉展開期	2回以内		4回以内
さといも ごぼう	ハスモンヨトウ ネキリムシ類		収穫14日前まで	4回以内		2回以内
かぶ			収穫30日前まで	2回以内		4回以内
ねぎ			発芽期～生育初期但し、収穫14日前まで	4回以内		(は種時は1回以内、 植付時は1回以内、 植付後は2回以内)
にんじん			収穫直前まで			4回以内
メロン			定植時	1回	配置	1回
えごま(種子)	ネキリムシ類		植付時		土壤表面株元処理	
たばこ					株元処理	2回以内

● ブロッコリー・ネキリムシ類(カブラヤガ)に対する効果

平成16年 日本植物防疫協会研究所
宮崎試験場



発生状況: 放虫(各区5鈴幼虫20頭) 品種: 緑嶺 定植: 10月21日 処理方法: 10月21日に所定量を株元処理
調査: 処理9日後に食害株数を調査
考察: 対照剤の定植時全面処理土壤混和と比較して優る高い効果が認められた。

● 雨が予想される時には、 使用しないでください。

雨が降ると、処理した粒剤が崩壊てしまい、
効果不足の原因になります。

● 被害が見えたら処理してください。

予防的に処理しても、その後ネキリムシが発生して
くるまでの期間が長いと、効果が期待できません。

注意事項



△ 効果・薬害等の注意

- 被害の発生をみたら作物の根際にそのまま散布してください。
- つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
- メロンに使用する場合は、以下のことに注意してください。
 - 1) 収穫前増糖時の乾燥期にコオロギによる食害が発生するので、食害防止に使用してください。
 - 2) 果実にかからないように果実周辺に1力所あたり数粒ずつ容器に入れ、土壤表面、あるいは床面に配置してください。
 - 3) 雨や水がかかると効果が低下するので、ハウスで使用する場合は、できるだけ灌水がかかるない場所に配置してください。また、露地で使用する場合は、降雨の予想されるときには使用をさせてください。
- 犬、猫などのペット類、家畜が食べないようにしてください。食べる可能性のあるところでは使用及び保管をしないでください。(中毒)
- 蚊に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○ 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○ 防除日誌を記帳しましょう。

* 本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

△ 安全使用上の注意

- 誤食などのないように注意してください。
- 眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。(刺激性)
- 散布の際は、農薬用マスクなどを着用し、作業後はうがいをしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

治療法 : 硫酸アトロピン製剤およびPAM製剤が有効であると報告されています。

魚毒性 : 河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。(甲殻類) 散布器具・容器の洗浄水は河川等に流さないでください。また空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管 : 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した所に保管してください。

